平成 22 年 10 月 25 日

各　位

会 社 名　　株式会社コスモスイニシア
代表者名　　代表取締役社長　高木 嘉幸
（ JASDAQ コード 8844 ）
問合せ先　　経営企画室 室長　野崎 勇一
（ TEL. 03-3580-2680 ）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日付当社「平成22年3月期 決算短信」にて公表いたしました平成23年3月期第２四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）の業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

１．平成 23 年 3 月期　連結業績予想の修正等

(1)　第２四半期連結累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回予想（A）	33,000	△3,800	△4,300	△6,300	△830.38
今回修正（B）	37,700	△1,100	△1,500	△1,900	△275.68
増減額（B－A）	4,700	2,700	2,800	4,400	―
増減率	14.2%	―	―	―	―
（ご参考）前期第２四半期実績（平成 22 年 3 月期第２四半期）	97,154	△917	△2,899	△6,178	△53.78

(2)　修正理由

新築マンション及び戸建住宅の販売が概ね計画通り推移し、下期に引き渡しを計画しておりました開発事業用地の売却が第２四半期連結累計期間に前倒しで実現できたことなどにより、不動産販売事業におきまして、売上高が計画比約 47 億円、売上総利益が同約 13 億円増加する見込みであります。

また、販売が好調に推移したことにより販売期間の短縮化が図れたことなどから、販売費及び一般管理費が計画比約 14 億円の削減、営業外損益が同約 1 億円の改善となる見込みであります。

一方で事業再生計画に基づき、海外事業から撤退する方針であり、これに伴う為替影響（為替換算調整勘定の処理）等を第２四半期連結累計期間に特別損失として約 16 億円を織り込んでおりましたが、撤退手法を含め引き続き検討・協議が必要なことから、同影響等が下期となる見通しであります。

これらの要因により上記のとおり、売上高 47 億円、営業利益 27 億円、経常利益 28 億円、四半期純利益 44 億円を増額修正するものであります。

２．平成 23 年 3 月期　通期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）連結業績予想

新築マンション及び戸建住宅の販売は、通期計画に対する契約進捗率85％程度を確保するなど好調に推移しており、また上記のとおり、第２四半期連結累計期間における主な業績修正要因は、通期業績に織り込んでおりました開発事業用地の売却が前倒しとなった一方で、第２四半期連結累計期間に織り込んでおりました為替影響等が下期となる見通しであることなど、通期における業績影響は軽微であることから、公表済の平成23年3月期通期連結業績予想に変更はございません。

＜ご参考＞

平成23年3月期　通期連結業績予想＜平成22年5月14日公表済＞

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
通 期	111,000	2,500	1,500	△700	△168.69

※本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以　上